



アカウミガメを救出する保護監視員＝13日午前5時40分ごろ、御前崎市

アカウミガメ

早朝の救出劇 4人がかり

御前崎 産卵で上陸動けず

「ヨイショ」「もう少し頑張つて」。絶滅危惧種アカウミガメの産卵地として有名な御前崎市で13日、産卵のために上陸した体長約90センチの親亀が堆積した砂と崖の間で身動きが取れなくなり、保護監視員が救出した。必死に脱出を試みた亀の姿に、監視員らは「命懸けで上陸してくる亀の強さを感じた」と語った。

同市塩原新田を巡回してい

た保護監視員の早馬彰夫さん（42）が同日午前5時ごろ、ウミガメ上陸の足跡を発見した。周囲を探すと波打ち際から50センチほど離れた場所に設けられた砂の飛散を防ぐ高さ約2メートルの「粗朶（そだ）」を越え、海に戻れなくなった親亀を見つけたという。親亀は粗朶の斜面を自力で登ろうと試みたが、やがて身動きが取れない状況に。早馬さん1人の力では亀を持ち上げられず、別の区域を担当する保護監視員の応援を得て男性4人がかりで救出した。

早馬さんは「産卵に適した場所を探し回っていたのではないかと推測。過去には上陸したまま死んでいた亀もいたという。」

保護監視員に助けられた親亀は、砂浜の上で四肢を懸命に動かしてゆっくり海へ向かって進んだ。無事に波打ち際にたどり着くと早馬さんらは安堵（あんど）の表情を浮かべ、おとし話を引き合いに竜宮城へ帰るのかな。元気でね」と見送った。

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①写真で救出しているアカウミガメ（親亀）の体長は約何センチありますか。

約（ 90 ）センチ

- ②この親亀を救出しなければならなくなったのはなぜですか。

（例）産卵のために上陸したが、堆積した砂と崖の間で身動きが取れなくなったから。

- ③この親亀の救出がとても大変な様子は記事のどんなところから分かりますか。

（例）1人の力では持ち上げられず、男性4人がかりで救出したところ。

- ④「絶滅危惧種アカウミガメの保護のために大切なこと」について、この記事から分かることを50字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

（例）命懸けで上陸してくるアカウミガメが移動しやすく、産卵しやすいような砂浜を守っていくことが大切だ。（48字）

・保護監視員が協力してアカウミガメを見守るとともに、監視員以外の人も皆で見守ることが大切だ。（45字）
など